

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	といる		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 13日		2025年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 13日		2025年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が安心感を感じながら、楽しく通所出来ている。 (児童・保護者の満足度が高い。)	日々変化していく子ども達をスタッフ一丸となって支援することにより、安定した支援が出来るように、毎日の活動を工夫している。	より子どもたちに必要な療育が出来るよう、イベント等を工夫していく。
2	保護者への支援	毎日の支援の活動内容を保護者に連絡帳で伝え、また、送迎時に直接保護者にお伝えしている。どのようなプログラムを行ったのか、参加の状況、子どもたち同士のコミュニケーションの状況等、その日の様子を伝えている。	これまでも行ってきてはいるが、連絡帳では伝えきれない所については、送迎時に保護者へのフィードバックし、Instagramでイベントなどの様子を伝えていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的にホームページやSNS等で、活動概要などの情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して、発信が弱い。	HPに記事の記載、SNSに日々の活動内容をアップしてはいるが、周知しきれていない状況である。	HPに事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っていく。 SNSについても、周知してもらうため、見たいを思う記載を増やせるよう努める。
2	地域の保育園や幼稚園との交流は、あまり出来ていない。	利用者の通っている園とはお互いに情報を交換しているところもあるが、出来ていない所もある。	園でどのような様子なのかなどを、お迎えに行った際、担当者会議などの場面など機会を作るように努める。
3			